



平成 21 年 10 月 23 日

【記者発表関係機関】

三次記者クラブ

八次小学校4年生が馬洗川で外来植物調査します。

～外来植物の侵入から馬洗川の自然をみつめてみよう～

開催日時 : 平成 21 年 10 月 29 日(木), 30 日(金)9:10～12:10

※4 クラスを 2 日に分けて、各 1 回目 9:10～、2 回目 10:50～

開催場所 : 三次市畠敷町(馬洗川鳥居橋付近 [別紙参照])

※但し、雨天や河川水位が高い場合には中止します。

<川に外来種が入ってしまうとどうなるの?>

外来種によって、世界中でいろんな困った問題が実際に起こっています。外来種は、もともたいた種や生態系だけでなく、人間の生活にも悪い影響を与えてしまうことがあります。また、こうした外来種による影響の中には、その地域の在来種を絶滅させるなど、とりかえしのつかない深刻な問題となる場合もあります。そのため、馬洗川学習を通じて、子どもたちと一緒に馬洗川の環境について考えていきます。

問い合わせ先 : 国土交通省三次河川国道事務所

(担当) 副所長 横尾 和久

(担当) 建設監督官(調査) 大賀 祥一 ◎

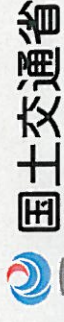
(広報担当窓口) 調査設計課長 丹後 浩一

TEL : (0824) 63-4121

FAX : (0824) 64-2240

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

●馬洗川の自然をみつめてみよう(馬洗川学習)



外来植物調査場所



昨年の調査状況

日時：平成21年10月29, 30日
場所：三次市畠敷町(鳥居橋付近)

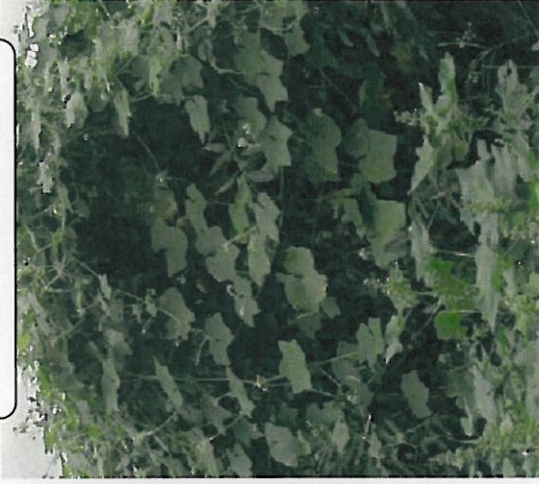
どんな外来植物が見つかるかな？

●外来種 (がいらいしゅ) の増加

セイタカアワダチソウ



アシチウリ



○外来種って何？

外来種とは、もともと日本にいた種ではなく、外国から入ってきた種です。

江の川には、約1100種の植物がいまですが、そのうち約170種が外来種で、現在もどんどん増えています。

このような外来種がどんどん増えています！

その結果

☆もともと河原にいた日本の種 (河原植物) が減っています！



オキナグサ



カワラハコ

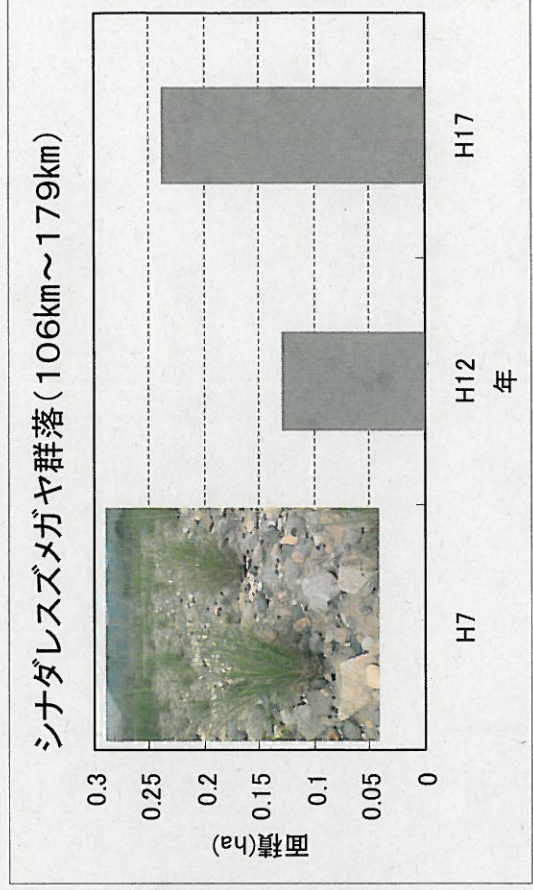
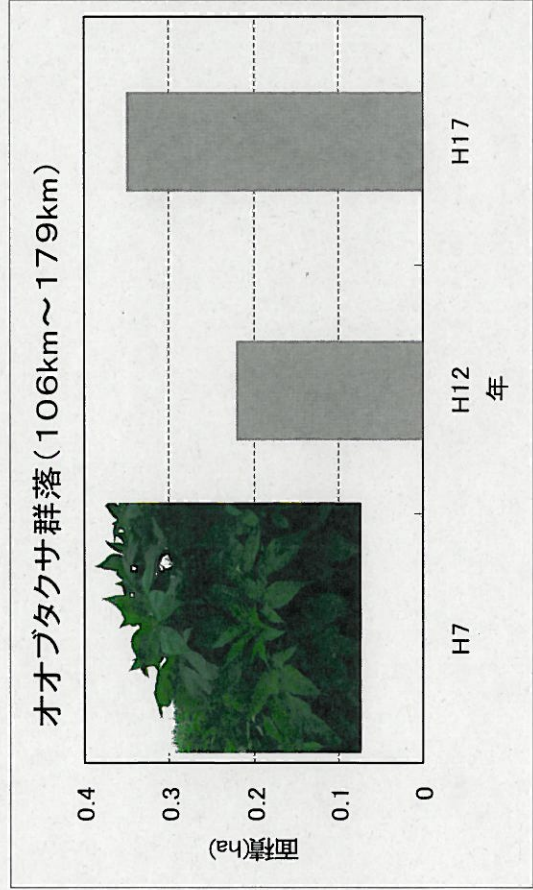
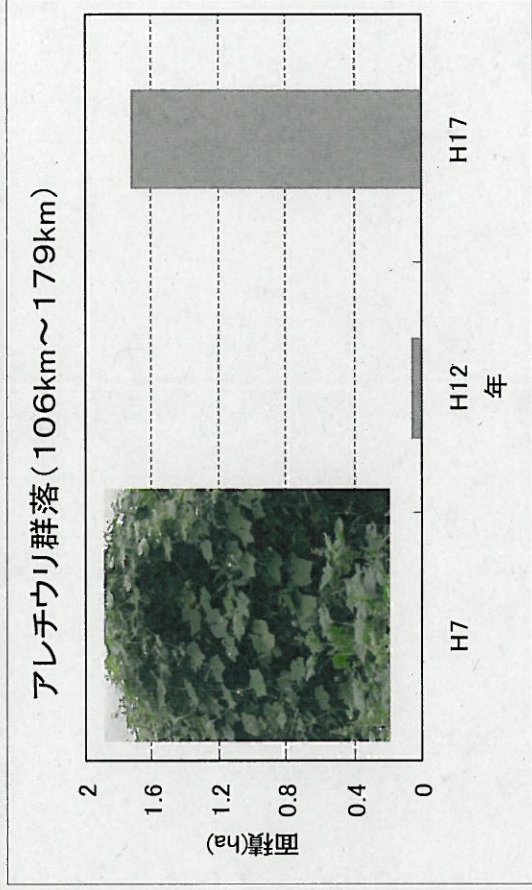
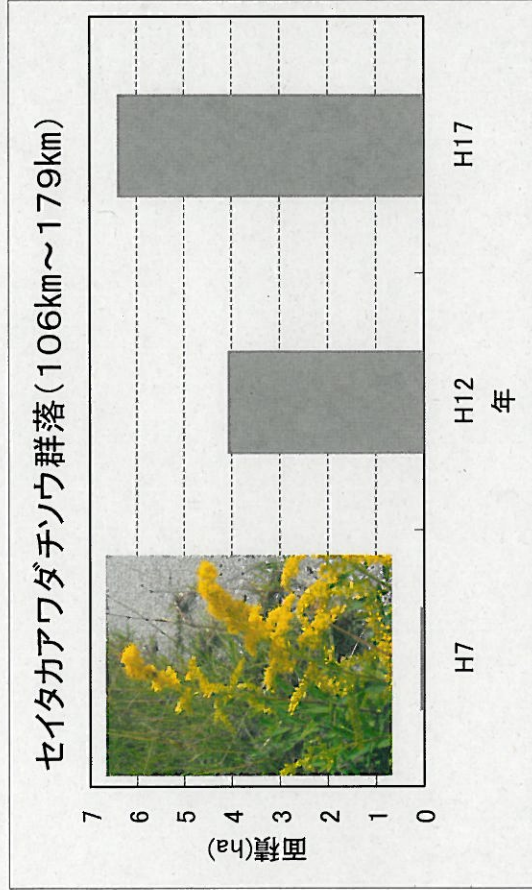


カワラヨモギ

●江の川の外来植物の侵入状況について

代表的な外来種の面積変化

対象区間：江の川（宇都井大橋～土師ダム下流）
 ※河川水辺の国勢調査「植物調査」結果より集計



馬洗川(八次)の主な外来種

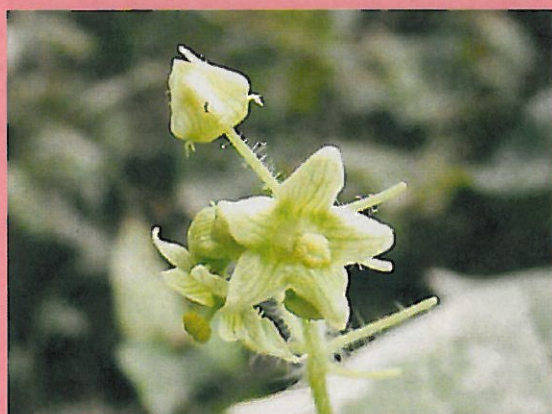


❖ アレチウリ ❖

とくていがいらいせいぶつ
【特定外来生物】



原産: 北アメリカ



アレチウリの^{はな}花



アレチウリの^み実 (トゲがあります)

馬洗川(八次)の主な外来種



❖ セイタカアワダチソウ ❖

原産:北アメリカ



セイタカアワダチソウの花



セイタカアワダチソウの葉

馬洗川(八次)の主な外来種



❖ オオオナモミ ❖

原産: 北アメリカ



オオオナモミの^み実



オオオナモミの^は葉 (裏面)